

Report 女川原子力PRセンターがリニューアルオープン

子どもも大人も楽しく学べる施設

女川原子力PRセンターが、7月1日にリニューアルオープンしました。

今回「見て・触れて・体験して」楽しく学べる映像や展示物をパワーアップ。その目玉となるのが、**VR(仮想現実)映像による女川原子力発電所のバーチャル見学**です。専用端末を組み込んだゴーグルを着けると、目の前に360度カメラで撮影された映像が広がります。上空から鳥の目線で発電所の構内を一望したり、2号機建屋の中を実際に歩いていたりする気分。また、現在進めている発電所の安全対策工事などを臨場感あふれる映像で紹介しています(新型コロナウイルス感染防止のため、当面はゴーグル着用を見合わせ、大画面スクリーンによる視聴を行っています)。



バーチャル見学の様子

エネルギーミックスについて学べるコーナーも大きくリニューアル。パラパラマンガ風のアニメーションや手回し発電機



トリックアートで驚きの写真が撮れます

による発電体験が追加され、子どもから大人までエネルギーについて楽しく学べます。また、電球の中に入りこんでしまったようなトリックアートを撮影できるスポットも。ぜひ写真を撮ってみてください。

さらに、見上げるほど大きい1/2サイズの原子炉模型の前では、**AIアテンダント「あいちゃん」が原子力発電のしくみを分かりやすく説明**します。



AIアテンダント「あいちゃん」が説明する1/2原子炉模型

学習、観光と多目的に使えるスポット

1階の展示物を見学・体験することはもちろん、2階のくつろぎラウンジや多目的コーナーでお休みいただくこともおすすめです。また、屋外にあるスイートガーデンでは、これから秋バラが見ごろを迎えます。

1983年の開館以来、約122万人もの方々にご来館いただいています。ぜひお越しください。



「見て・触れて・体験して」楽しく学べる女川原子力PRセンター

女川原子力PRセンター TEL.0225-53-3410

- 新型コロナウイルス感染防止対策として、当面、ご来館は原則、事前予約制とさせていただきます
- ご来館の際は、検温、手指の消毒・マスク着用などにご協力をお願いいたします
- 詳しくは当社ホームページをご確認ください

■住所 / 宮城県牡鹿郡女川町塚浜字前田123 ■開館時間 / 9:30~16:30
■休館日 / 毎月第3日曜日(月曜日が祝日の場合は翌日)、年末年始

エネルギーなるほどのクイズ

各発電方法の長所と短所を補い合って電気を作ることが重要です。その「バランスのとれたエネルギーの組み合わせ」を何としようか?
①エネルギーシェイク ②エネルギーミックス ③エネルギースクランブル

クイズに正解された方の中から、抽選で**20名様**に、「石巻飯野川発『サバだしラーメン』と女川郷土料理『ほやたまご』のセット」を差し上げます。



63円

仙台市青葉区中央四丁目6番1号 東北電力宮城支店「エネルギーなるほどのクイズ」係

①クイズの答え
②お名前(ふりがな)
③年齢
④性別
⑤ご職業
⑥郵便番号
⑦ご住所
⑧電話番号
⑨「東北電力からのお知らせ」に対するご感想
⑩東北電力に関するご意見、ご要望

※⑨⑩は内容のみ誌面で紹介する場合があります。掲載不可の場合は、その旨の記載をお願いいたします。

■応募方法: ハガキに、上記の必要事項をご記入の上、ご応募ください。

■応募締切: 2020年10月6日(火) 必着

※当選発表は商品の発送をもってかえさせていただきます。
※クイズの応募ハガキで知り得たお客様の個人情報は当選者への商品の発送のみに使用します。また、いただいたご意見については、今後の紙面づくりの参考にさせていただきます。



宮城支店 TEL.022-225-2141 当社ホームページ



より、そう、ちから。

東北電力からのお知らせ

本紙は女川原子力発電所が立地している女川町、石巻市と、隣接する登米市、東松島市、涌谷町、美里町、南三陸町の皆さまに向けたコミュニケーション紙です。

エネルギーはバランスが重要
さまざまな発電方法を組み合わせています



安全対策工事を進める「女川原子力発電所(女川町・石巻市)」



日本の水力発電発祥の地「三居沢発電所(仙台市)」



特別名勝松島の景観に配慮した「仙台太陽光発電所(七ヶ浜町)」(仙台火力発電所に隣接)



世界最高水準の熱効率を誇る「新仙台火力発電所(仙台市)」

日本は、エネルギー資源が乏しいため、そのほとんどを海外からの輸入に頼っており、エネルギー自給率(国内で賄える割合)は、先進国の中でも低い水準です。

このような事情を抱える日本では、2度のオイルショックの経験も踏まえ、約40年を費やして、特定のエネルギー資源に偏ることのないように電源の多様化に努めてきました。

エネルギーについて考える際には、「S+3E」という重要な視点があります。安全確保(Safety)を大前提に、安定供給(Energy security)、経済性(Economical efficiency)、環境適合(Environment)を同時に達成するという意味であり、特定の電源やエネルギー資源に過度に依存することなく、バランスのとれた電源構成を目指していく日本のエネルギー政策の基本となる考え方です。

各発電方法にはそれぞれ長所や短所があり、現時点では「これさえあれば完璧」というものはありません。このため、当社としては、高効率の火力発電の活用や再生可能エネルギーの導入拡大、そして原子力発電所の再稼働に向けた取り組みを進めることにより、バランスのとれた電源構成(エネルギーミックス)の実現や「S+3E」の同時達成を目指してまいります。

エネルギーについて考える基本的かつ重要な視点



本号では、エネルギーや女川原子力発電所に関する『よくいただくご質問』についてお答えします。

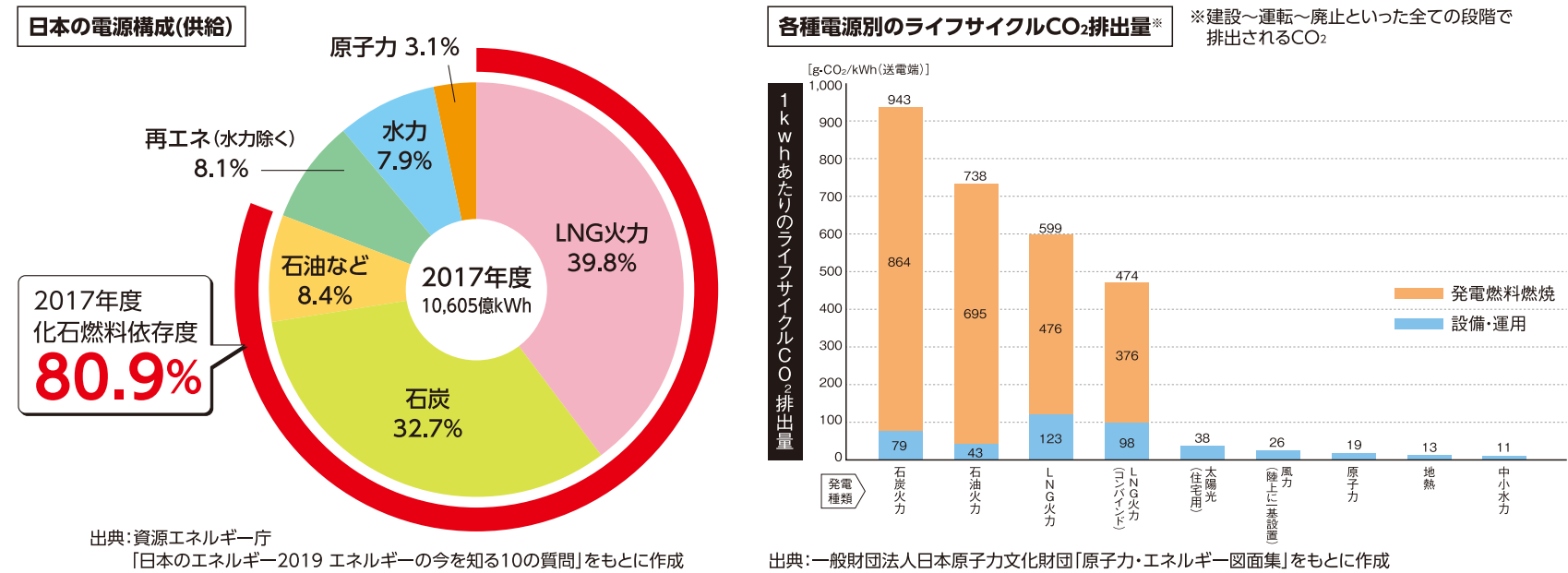
Q 原子力発電所が止まっても電気は足りているのに、原子力発電はどうして必要なの？

A 資源が乏しい日本において、「安定供給・経済性・環境適合」を同時に達成するためには、火力発電や再生可能エネルギーに加え、安全確保を大前提に原子力発電の活用も必要と考えます（エネルギーミックス）。

東日本大震災以降、多くの原子力発電所が停止しており、供給する電気の約8割を、LNGや石炭、石油などの化石燃料を利用する火力発電に頼っています。さらに、日本は、国内において必要な資源のほとんどを海外から輸入しているため、エネルギー自給率は1割ほどしかありません。

火力発電に大きく依存した状態は、海外からの化石燃料の輸入量の増加につながるとともに、地球温暖化の原因となる二酸化炭素排出の面でも課題があります。

当社としては、**地球温暖化への対応を踏まえながら、電気を安定的かつできる限り安価にお届けしていくためには、バランスのとれた電源構成を目指していく必要**があると考えています。



Q 太陽光や風力発電などの再生可能エネルギーをもっと増やせばいいのでは？

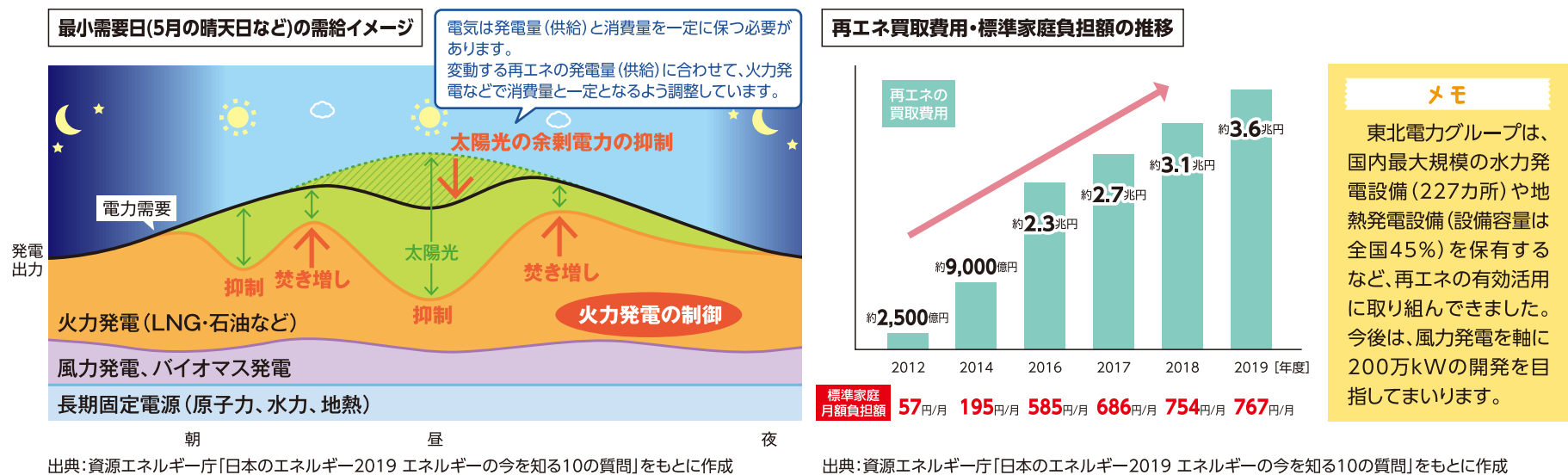
A 再生可能エネルギーをより拡大させるためには、難しい課題もあります。

発電時に二酸化炭素を排出しない太陽光や風力発電などの再生可能エネルギーは、エネルギー資源の乏しい日本にとって、貴重なエネルギーであり、さらなる拡大が期待されています。

しかし、季節や天候に左右されて発電する量が不安定なこと、大量に導入するためには電気を送るネットワークの整備とその追加コストが発生するなど、課題も残っています。

また、再生可能エネルギーの導入を進めるために、2012年に固定価格買取制度*がスタートして以降、発電設備の急速な導入に伴い買取費用も増加しています。**“再生可能エネルギーの拡大”と“負担の抑制”の両立が必要**となっています。

*再エネの電気を固定価格で一定期間電力会社が買い取る国の制度。買取費用は全ての電気利用者が毎月の電気料金と合わせて負担



Q 女川原子力発電所の安全対策はどうなっているの？

A 設備面・運用面の両面から、様々な安全対策に取り組んでいます。

安全対策の一例

地震から守る

大きな揺れにも耐えられるように、建物や配管類を補強しています。

震災後、想定する地震の大きさを引き上げました。

配管類の耐震工事

津波から守る

国内最高レベルの高さとなる海拔29mの防潮堤を設置しています。

震災後、想定する津波の高さを23.1mに見直ししました。

防潮堤

電源を確保する

発電機を搭載した車を配備するなど、非常時の電源を強化しています。

既設の電源設備が使用できなくなった場合でも、ガスタービン発電機など多様な電源設備が必要な電力を確保します。

ガスタービン発電機

原子燃料を冷やす

大容量のポンプ車を配置するなど、原子炉の冷却を強化しています。

既設の設備が使用できなくなった場合でも、大容量の送水ポンプ車などで原子炉へ注水し、原子炉を冷やします。

大容量送水ポンプ車

事故の影響を抑える

放射性物質の放出量を抑制します。

重大事故により、原子炉格納容器内の蒸気を大気へ放出しなければならない場合に備え、放射性物質の量を1/1000以下に抑制する特殊なフィルター装置を設置します。

フィルター装置

事故を想定した訓練を実施

厳しい条件を想定した訓練を繰り返し実施しています。

電源を確保する訓練

重大事故を想定したシミュレーター訓練

Topics ▶ 宮城県主催の住民説明会で女川原子力発電所の安全対策について説明させていただきました

8月1日から19日にかけて、宮城県の主催により「女川原子力発電所に関する住民説明会」が開催されました。

本説明会は、主に女川原子力発電所からおおむね30km圏内に在住、通勤・通学されている方を対象として、女川町と石巻市、東松島市、南三陸町において計7回開催されたものです。当社も事業者として出席し、女川原子力発電所の安全対策について説明させていただきました。

当社としましては、安全性の向上や新規規制基準適合性審査に、引き続きしっかりと取り組むとともに、こうした当社の取り組みの状況をさまざまな機会を捉えて丁寧に説明してまいります。



▶ 女川原子力発電所1号機 廃止措置作業の着手について

2018年12月に運転を終了した女川原子力発電所1号機について、7月28日、廃止措置に係る第1段階の作業として、機器・配管に付着した放射性物質を、高圧洗浄装置を用いて除去する作業に着手しました。

原子力規制委員会より認可された廃止措置計画に基づき、引き続き、安全確保を最優先に廃止措置に取り組むとともに、廃止措置の実施状況について地域の皆さまに分かりやすく発信してまいります。

